



# 若い季節

NO.85

令和4年11月発行

〒520-0044 大津市京町四丁目3番28号 滋賀県厚生会館・滋賀県子ども・青少年局分室内  
未来にはばたく青少年の健全育成をすすめる民間団体 滋賀県青少年育成県民会議

## 中学生広場「私の思い2022」



開会あいさつ



発表者と中学生実行委員



表彰式



受付



知事と語ろう会



米原市内中学校の取組紹介

### 「滋賀県民総あいさつ運動」顕彰者表彰



### 滋賀県民総あいさつ運動顕彰者取組事例発表



前田 義弘氏

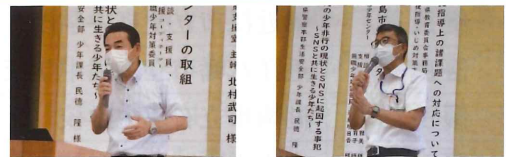
奥村 恭司氏

### 青少年育成団体関係者等交流研修会



講演  
「青少年のひきこもりの現状と支援のありかたについて」  
滋賀県立精神保健福祉センター  
藤本 千穂 氏

### 非行防止・環境浄化対策連絡会議



講話  
県警本部生活安全部  
少年課長 民徳 隆 氏

講演  
県教育委員会生徒指導  
・いじめ対策支援室  
主幹 北村 武司 氏



講演  
高島市少年センター  
相談・支援員 提中 雅美 氏  
支援コーディネーター 川島 育子 氏  
無職少年対策指導員 近藤明日香 氏

## 主な内容

- 滋賀県第25回中学生広場「私の思い2022」..... 2
- 中学生広場 最優秀賞、優秀賞の発表意見文..... 3
- 「あいさつ運動感謝状」受賞者一覧..... 6
- 市から町から（愛荘町・草津市）..... 7
- 青少年育成団体関係者交流研修会、非行防止・環境浄化対策連絡会議..... 8
- 滋賀県青少年育成市町民会議一覧..... 9
- 正会員（団体）紹介、滋賀県青少年育成県民会議入会のお願い..... 10

## 滋賀県第25回中学生広場「私の思い2022」

8月20日(土)に、滋賀県第25回中学生広場「私の思い2022」県広場を開催しました。本広場は、平成10年から行われており、25回目の記念の年を迎える本年は、三日月知事にも来賓としてご出席いただきました。今年度は、県内97校、24,447人の中学生から意見作文の応募があり、その中から選ばれた代表の12名の皆さんの意見発表とともに、米原市の中学生実行委員の皆さんを中心とした運営がなされ、進行や案内など様々な場面で、中学生の活躍する様子が見られました。

また、活動発表では米原市内中学校の特色ある取組が紹介され、その交流を行うことでお互いの取組を認めあったり、刺激し合ったりしているなどの報告がありました。

意見発表の審査結果は、下表のとおりです。



## 審査結果

(敬称略・優良賞は県広場の発表順)

| 賞    | 学校名         | 学年 | 発表者    | 題名            |
|------|-------------|----|--------|---------------|
| 最優秀賞 | 米原市立米原中学校   | 3年 | 田島 桂   | 水餃子           |
| 優秀賞  | 長浜市立びわ中学校   | 3年 | 橋本 環   | 超高齢化社会で生きていく  |
| 優秀賞  | 大津市立堅田中学校   | 3年 | 木下 歩美  | もう数年、あと数年     |
| 優良賞  | 大津市立瀬田中学校   | 2年 | 荒蒔 結衣  | 自分らしいってなんだらう  |
| 優良賞  | 東近江市立愛東中学校  | 2年 | 村山 鈴音  | 父に学んだこと       |
| 優良賞  | 近江八幡市立八幡中学校 | 3年 | 山田 あおい | おもしろい大人       |
| 優良賞  | 湖南市立石部中学校   | 3年 | 杉江 夢羽  | 私の命は何のためにあるのか |
| 優良賞  | 守山市立明富中学校   | 2年 | 川端 花音  | 「考える」の分岐点     |
| 優良賞  | 愛荘町立秦荘中学校   | 3年 | 西田 百杏乃 | 私の病気について      |
| 優良賞  | 東近江市立能登川中学校 | 3年 | 大橋 歩   | コロナ禍でできた絆     |
| 優良賞  | 高島市立今津中学校   | 1年 | 大村 理央  | This is me    |
| 優良賞  | 大津市立打出中学校   | 3年 | 岡島 志保  | 私が挨拶をする理由     |

★最優秀賞は滋賀県知事賞、優秀賞は滋賀県議会議長賞および滋賀県教育委員会教育長賞、優良賞は県民会議会議長賞

## 第44回少年の主張全国大会～わたしの主張2022～

11月13日(日)「第44回少年の主張全国大会～わたしの主張2022～」で、米原市立米原中学校3年 田島 桂さんが、全国大会出場者12名に選ばれ、「審査委員会委員長賞」を受賞されました。この荣誉に拍手を送りたいと思います。おめでとうございます。滋賀県にとっては、昨年度に続いての全国大会出場となりました。国立青少年教育振興機構では「第44回少年の主張全国大会」WEB開催特設ページが公開されています。

URLは、<https://www.niye.go.jp/services/plan/syutyou/> です。

是非、ご視聴いただきたいと思います。



滋賀県第25回中学生広場「私の思い2022」県広場  
最優秀賞《滋賀県知事賞》  
第44回少年の主張全国大会出場・審査委員会委員長賞受賞



最優秀賞

## 水餃子

米原市立米原中学校 3年 田島 桂

我が家では、水餃子を作る時、大抵皮作りから始めます。小麦粉に水を入れ、力いっぱいこねて、麺棒で一枚一枚皮を作ります。ムチムチで食べ応え抜群なのにサッパリとしていて、いつの間にかお腹がはち切れそうになる程美味しい我が家の味です。この餃子、作るのはいつも父で、私は毎回手伝いに呼ばれます。

先日、いつものように一緒に作っていると、父がポツリと言いました。

「最期に食べる物はこの水餃子がいいな。」

はて?と思いました。確かにこの水餃子は美味しいけれど、他にももっと美味しい物はあるのに…。すると、父が続けて言いました。

「去年、お父さん、心臓悪くて入院しただろ。その時ちょっと気が弱くなって、死ぬ前にしたい事とかいきたい所とか考えていて、思ったのがこの餃子。」

「でも、病気のときは自分で作れくない?」

「いや、最期に食べたいのは、桂ちゃんが作ってくれる予定の水餃子。そこが重要。」

なんで私の?と聞いていくと、我が家と餃子をめぐると長い話が始まりました。

父の餃子は、父の母、つまり私の祖母から習ったそうです。そして、祖母はその父である、私の曾祖父から習ったのだそうです。明治42年生まれの曾祖父は、戦前満州で菓子屋を営んでいました。手先が器用で、美味しい物が好きだった彼は、その地の中国人からとある水餃子のレシピを教えてもらったそうで、今私が食べているのも、その時のレシピ通りのものだそうです。中国の伝統の餃子が、百年近い時を経て、自分たち家族の食卓に上っていたなんて、思いもしませんでした。

父はこのような由来を語った後、「最期にこの水餃子を食べたい理由」を、「歴史が繋がる感じがするから。」と言いました。満州の中国人から

曾祖父へ、そして、その曾祖父は戦後命からがら満州から引き揚げて、日本で何とか生き延び、祖母にこの味を伝えました。父は、両親が共働きだったので、早くから料理を覚えたそうです。

そのレパートリーの中に、祖母が教えた水餃子のレシピがあったのです。だから、父にとって、それを受け継いで自分の娘が作った水餃子こそ、最期の食事にふさわしいのだと、話してくれました。

時々、私は、「私が死んだ時、何が残るのだろうか。」と考えます。もし何も残らなかったら…、誰からも忘れられてしまったら…と思うと、とても怖くなります。例えば、美術や文学の美しい作品を創ることができれば、それはたくさんの人の心に残り続けることでしょうか。あるいは、歴史に残るような発見をすれば、生きた証が残せたと満足できるでしょう。けれども、そんな人はほんの一握りです。自分とは関係のない話のように思えてなりません。

けれども、この水餃子の話を聞いて、少し考えが変わりました。この水餃子のレシピを伝えた中国人も、海を渡って百年後の日本で作り続けられるとは思っていなかったでしょう。それがいろいろな偶然が重なって、今こうして我が家に伝わっているのです。

「なんでもない」人の「平凡な」営みが積み重なり、私たちに伝わり、今度は私たちが次の世代に伝える…。それはほんのささやかなことかもしれませんが、自分の名も残らないかもしれませんが、けれども、私たち一人ひとりの生きた証は、必ず残り、未来へと繋がっていくのです。水餃子一つで何だか大げさなようですが、改めて身の回りのものに目を向けてみると、そこには幾つもの、「なんでもない人」の生きた証が刻まれているのだと気づくことができました。私たちの将来は「特別な人」か「無価値な人」の二択では決してないのです。

滋賀県第25回中学生広場「私の思い2022」県広場  
優秀賞《滋賀県議会議長賞》

優秀賞

## 超高齢化社会で生きていく

長浜市立びわ中学校 3年 橋本 環

先日、祖父が亡くなった。誤嚥性（ごえんせい）窒息。それが祖父の死因だった。祖母が口に運んでくれた夕食を詰まらせてしまったのだ。

祖父は思っていることをあまり口には出さなかったが、私や弟の帰りが遅いと心配してくれていたそう。毎日欠かさず言ってくれた「おかえり」と「おやすみ」には祖父の思いが詰まっていたのだと、今になって思う。物静かな中にも優しさのあふれる人だった。

元気だった祖父の様態が急激に悪化したのは、今年の2月ごろ。一人でトイレやお風呂に行けなくなった祖父を祖母はずっと支え続けた。休日は私の両親も祖父の介護に精を出したが、日に日に疲れていく祖母の姿を思い出す度に今でも私は心を痛める。

高齢化が進んだ日本では、息子や娘が都市部で就職し、一人暮らしを余儀なくされ、孤独死してしまう高齢者や、老人ホームに入ったのはいいものの、コロナ禍で家族との面会ができないまま亡くなってしまう高齢者がたくさんいるそうだ。

そう考えると、長年共に歩んできた祖母に最期まで寄り添われ、自宅で家族に看取られながら天寿を全うした祖父は幸せ者だったと思う。

超高齢化社会に突入した日本が抱える介護や高齢者の問題は大きい。両親は祖父の介護申請を行っていた。しかし、介護士の方の訪問を終え、介護申請が通ったのは申請後1か月以上が経った、祖父が亡くなる1日前だった。それは日本の介護士不足によって起こったことである。政府は今年、介護関係の職に就く人の給料を上げる政策を打ったが、介護の需要が高まっている地域ほど、介護士など若手の担い手が不足している。

そんな現状を変えるためにも、私は収入面のサポートだけではなく、介護の仕事に対して抱かれています「3K（きつい・汚い・危険）」のイメージから脱却する必要があると考えた。小学生の時に

訪問した地域の介護施設には、耳が遠く、何度も同じことを聞き返すお年寄りに対して、大きな声でゆっくりと話しかけたり、根気強く説明したりするスタッフさんの姿があった。その中でも、「入居者さんは人生の先輩なんです。」と笑顔で話すスタッフさんの姿は、特に印象に残っている。

私は、それまで介護職に対してブラックなイメージを抱いていた。しかし、その経験によって、私の介護職への印象は一新された。インターネットで調べてみると、「3K（きつい・汚い・危険）」から「3A（温かい・安心・安定）」に変えていく動きがあるそうだ。そのためには、現場の人たちの声をもっと届けていくことが有効であると感じる。

このように、介護士の担い手増加を目指す取組など、行政が今以上に進めていく課題は山積みだ。

では、私たち中学生ができることは何だろうか。お手伝いをする、地域行事に参加する、挨拶をするなど簡単なことから始められる。ただ、何をやるにしても、その根底に高齢者への感謝の気持ちを伝えようとする姿勢が大切だ。私の周りにはいる高齢者の多くは、私がまだ幼かった頃、お世話をしてくれたり、畑で採れた野菜を分けてくれたり、何らかの形で私を支えてくれた方ばかりだ。今までお世話になり、助けてもらった人たちを次は若い世代の私たちが助ける、昔の恩返しをする、そんな気持ちで接することができるのではないだろうか。

「子どもは地域の宝」という言葉をよく耳にする。が、少子高齢化が進んだ過疎地域では子どもの若い力はとても貴重な存在になっている。地域、そして日本の未来を担う私たちが「高齢者の方のために何ができるだろう。」と考えることが、日本の高齢化問題解決のスタートである。

滋賀県第25回中学生広場「私の思い2022」県広場  
優秀賞《滋賀県教育委員会教育長賞》

優秀賞

## もう数年、あと数年

大津市立堅田中学校 3年 木下歩美

「寒天」で検索。出てきたのは、「紅藻類の粘着質を凍結または乾燥したもの。」という文章である。次は「紙」、その次は「バガス」や「マプカ」。最後の2つにいたっては、聞いたこともない。「バガス」とは、皆さんがよく知るサトウキビを搾った時に出る、残りかすのことだそうだ。

これらを聞いて、皆さんは何を連想するだろうか。海外の食べ物?これから流行するもの?実は、これらは主に「プラスチックの代替品」として挙げられるものたちである。先ほど挙げた「マプカ」もプラスチック素材に紙パウダーを混ぜて作るものである。中でも私が衝撃を受けたのは、「寒天」だった。寒天がゼリーやプリンになるのならまだわかる。だが、プラスチックの代わりになるのだろうか。気になった私は、今日の環境問題と照らし合わせながら考えてみた。

そもそも、プラスチックの代替品について知ろうと思ったのは、修学旅行で体験した、SDGsプログラムがきっかけである。私はここで、地球の土が減っていることを教わった。実際、私の周りを見ても土が減っている印象はなく、コンクリートの道が増えていても、その下にはもちろん土があり、土は永遠に存在し続けるものだと思っていた。でも、確実に土は減っていること、そして土を増やすための取り組みが行われていることを、体験を通して私は知った。私たちが知らないだけで、地球や私たちを取り巻く環境は大きく変化しているのかもしれない。そこで、最近耳にするプラスチック問題について考えてみたのである。

今、私たちは環境問題に直面した時代に生きている。「SDGs」という言葉もよく耳にするようになり、プラスチックが海に生きる魚や、人間にまで悪影響を与えることがわかってきた。私たちが普段使っているプラスチックは、海に入ってもなかなか分解されず、これを魚などの海の生き物たちが食べてしまうことが問題になっている。しかし、これが寒天だったらどうだろう。寒天は最初に述べたように紅藻類であるため、海に入っても、魚が食べても問題はない。また、寒天は土と混ぜると保水力の高い土を作ることができ、他にも軽量で

耐久力の高いものが作れるなど、加工しやすい所がプラスチックと似ているという。

寒天に限らず、他の代替品でもプラスチックに近いものが再現できるようになり、これで地球の未来は安心だと感じてしまう。だが、プラスチックの代替品が商品になったとして、本当に私たちは手にしようと思うだろうか。安価なプラスチック製品と、少し高価な代替品を比べた時に、真っ先にプラスチック製品に手を伸ばしてしまう人が多いと、せっかくの代替品も意味をなさない。

私は知るということ、知らないということは大きな違いがあると思う。もし私たちが、プラスチックがもたらす地球への影響を知らなければ、何も考えず今までどおりに過ごすだけで、これからの未来を変えることは難しい。しかし、地球環境への影響を知ることで、私たちはプラスチックを減らすためにできることを考え、行動に移すことができる。少なくとも私は、代替品の商品に手を伸ばしたいと思う。知ることで私たち一人ひとりの意識は変わり、これからの未来を変える大きな力となっていくはずだ。

今の私たちにはまだ、代替品を開発したり普及させたりできる力はない。しかし、私たちの意識を変えていくことはできる。今の私にできることは、生徒会として、まずは全校生徒に私が知ったこと、考えたことを知ってもらうこと。そして、私が考えたことを行動に移していくこと。私は学校行事の一つとしてゴミ拾いを提案したい。また、他校と連携したSDGsの取り組みも現在進めている途中である。

わたしは、脱プラスチックのための代替品が、すでに形になっていることを皆さんに知ってほしい。世界が環境問題に取り組み始めてもう何年も経っているが、この問題が改善されるまで、あと何年かかるかわからない。しかし、少なくとも私たち一人ひとりの意識が変われば、あと数年でこれからの未来は大きく変わっていくと思う。私一人の力は小さいものだが、今の私にできることを考え、未来を変える一歩を踏み出したい。

## 滋賀県民総あいさつ運動感謝状受賞者一覧 (敬称略・順不同)

令和4年度総会(5月20日)の席上、長年にわたりあいさつ運動に取り組んでおられる下記の7名と8団体の皆様に滋賀県青少年育成県民会議児玉会長から感謝状が授与されました。

| 顕彰者(団体)名                    | 活動内容   | 顕彰者(団体)名   | 活動内容  |
|-----------------------------|--|--|---|
| 平野学区青少年育成<br>学区民会議<br>(大津市) | 設立以来51年間にわたり、早朝あいさつ運動を展開。7月、11月の強調月間、6月、10月、2月の集中した取組で、交通安全、犯罪防止に努め、地域の子どもと大人をつなぐ場である。長年の活動は功績大である。                  | 守山市吉身東町<br>自治会<br>(守山市)  | 長年、通勤通学時間帯での5箇所の交差点であいさつ運動を実施し、お互いあいさつを交わす方が多くなっている。7月、11月の強調月間には自治会役員や保護者と共にあいさつ運動を推進されている。                        |
| 彦根市立旭森小学校<br>代表委員会<br>(彦根市) | 児童が自主的に取組はじめ、長年引き継がれてきた「あいさつ・声かけ活動」である。毎週月曜日・水曜日代表委員がたすきをつけ、校門から昇降口まで間で活動をしている。地域のボランティアの方との取組を通じた交流もあり、大変意義深い取組である。 | 市川 武<br>(栗東市)  | 15年の長きにわたり、毎朝夕、自宅前で児童・生徒や教員・保護者・会社員に温かい声かけを続けておられる。こうした活動は、人と人とのつながりを深めあいさつの定着を図り、青少年の健全育成に貢献されている。                 |
| 前田 義弘<br>(長浜市)              | 平成16年度に古保利小学校PTA会長に就任されて以来、16年間に長きにわたり毎朝通学路で子どもたちの交通安全の見守りとあいさつ運動を続けてこられた。子ども安全リーダーとしてあいさつ見守り運動の要として取り組まれた功績は誠に大である。 | 梅田 敏幸<br>(栗東市)   | 平成30年から、子ども安全リーダー・スクールガードとして毎朝交通安全見守り活動を実施。子どもたちのあいさつの定着に寄与、多くの方から感謝されている。他の模範となる活動でその功績は顕著である。今後とも長く継続されることが期待できる。 |
| 速水小学校 PTA<br>(長浜市)          | 長年にわたり PTA 活動の一環として、児童の下校時に通学路に立って防犯見守り活動や声かけ活動に取り組まれている。交通事故や不審者の声かけ事案が多発する中、子どもたちの安心安全に寄与されている。                    | 宮本 悦子<br>(野洲市)   | 長年子ども安全リーダー、スクールガード、市民会議の一員として小・中学校の校門前であいさつ運動を実践されている。その功績により様々な感謝状を受けられるなどあいさつ運動の実践、啓発活動への貢献は大である。                |
| 長浜少年補導委員会<br>南ブロック<br>(長浜市) | 長年にわたり、地域の量販店やカラオケ店などの巡回、青少年への声かけや早朝あいさつ運動を実施。また地域の小・中学校への訪問など青少年の安心安全に寄与されている。                                      | 日野町民生委員<br>児童委員鎌掛地区<br>(日野町)   | 小学校の統廃合によるバス通学のため、地区内に組織された「見守り隊」の主力メンバーとして、児童と帯同しながら朝のあいさつ・声かけを行っておられる。地域でのあいさつ運動の要としてその貢献度は大である。                  |
| びわ北小<br>スクールガード<br>(長浜市)    | 毎日、集合場所で子どもたちにあいさつ・声かけをし、付き添い登校をしておられる。スクールガード事業に尽力し、登下校を見守り、あいさつの輪を広めるなど「あいさつ運動」を牽引・定着させる功績は大である。                   | 藏口 きよ江<br>(竜王町)  | 8年以上の長きにわたり、毎朝竜王小学校前横断歩道にて立哨指導とあいさつ運動を取り組まれている。おうみ通学路交通アドバイザーとしても活躍され、子どもたちの安全安心に寄与され、その功績は大である。                    |
| 柳生 強<br>(近江八幡市)             | 10年以上の長きにわたり、学区内の小・中学校校門前で朝のあいさつ運動を継続して取り組まれてきた。また市民総あいさつ運動の先頭に立たれて牽引されてきた。その功績は誠に大である。                              |  |   |
| 加藤 勇<br>(草津市)               | 平成26年から毎朝志津小学校の通学路であいさつ運動を実施、その後高穂中学校に向かいあいさつ・声かけ運動をされている。児童生徒を見守り、安心で安全な地域づくりに寄与され他の模範とするところである。                    |  |   |

市から  
町から

「人が輝き 人が育つ 未来を拓く 愛荘の教育」

愛荘町青少年育成町民会議

愛荘町青少年育成町民会議では、「大人が変われば、子どもも変わる」という青少年育成国民運動の提唱を受けて、青少年育成機関・団体と連携を図り、愛荘町の教育理念である「人が輝き 人が育つ 未来を拓く 愛荘の教育」のもと様々な活動をしています。

〇あいさつ運動の推進

家庭・地域・学校でのあいさつ運動を展開しています。青少年育成推進委員や少年補導員をはじめ地域の方々も参加していただきながら、通学路で子どもたちへの「おはよう」のあいさつや、子どもたちの下校時刻に、「愛のひと声パトロール」での「お帰り。気を付けて帰りや」など、子どもたちへの声かけをしています。まだまだマスクを外せないときではありますが、子どもたちから元気なあいさつが返ってきます。



〇青少年育成パトロールの実施

近年、県内外で子どもの登下校の安全を脅かす事件が多発しており、町内においても子どもたちの安全を確保するために、例年夏季・冬季休業期間を除く6月から12月の毎週金曜日に、安全パトロールを実施しています。「地域の子どもは、地域で守り育てる」運動の更なる強化で、児童・生徒が安心して通学や外出できるようにパトロールを実施しています。

また、夏休み期間中には地域の青少年育成推進委員を中心に地域内をパトロールし、子どもたちに「愛のひと声」をかけて温かく見守り、非行や問題行動の未然防止に努めるとともに、地域で青少年を守ることの大切さを住民に訴えかける活動をしています。

〇青少年健全育成・人権教育啓発演劇

青少年を取り巻く環境は、いじめや不登校、青少年による凶悪犯罪など年々深刻化しています。このような状況の中、地域社会の大人たちが協働して、青少年の健全育成を支援していく環境を熟成することや、他人への思いやり、命の尊厳など一人ひとりの人権を大切にす地域づくりを進めることは特に必要なこととあります。そこで家庭や地域にスポットをあてた青少年健全育成・人権啓発演劇活動を通じて、行政や地域が一体となって青少年を健やかに守り育てていき、青少年の健全育成と人権を尊重するまちづくりの推進に寄与する住民主体の演劇活動を行っています。



～すこやかに伸びよ 伸ばそう青少年～

草津市青少年育成市民会議

草津市青少年育成市民会議は、青少年の健やかな成長を願い、市民総ぐるみ「挨拶（あいさつ）運動」の継続、ふれあいと絆を深め地域の安全確保に取り組み、家庭・学校・地域の連携強化のもとに、青少年健全育成諸団体と協力して、青少年健全育成運動を展開してまいります。



【主な取組】

〇青少年の健全育成の意識の高揚を図る啓発

・草津市青少年の主張発表大会（令和4年7月3日開催）

市内7中学校と高校1校の代表者の作文による主張発表大会を開催しています。例年、中学生徒会が輪番制で運営に当たっています。（令和4年度は中・高校合わせて3,806人の生徒が作文に取り組みました。）

・草津市青少年育成大会（令和4年11月27日開催予定）

地域で活躍する青少年育成指導者や団体に対する顕彰や「挨拶（あいさつ）運動」啓発作品の優秀作品表彰と講演会を通じて青少年健全育成の輪を広げています。



〇挨拶（あいさつ）運動の推進

小中学校の登下校時に通学路で積極的に挨拶の声かけ運動に取り組んでいます。また、平成10年度から小中学校や一般の方に挨拶運動啓発作品（標語、絵画）を募集し、優秀作品を表彰、展示しています。さらに挨拶への関心を高めるため小学校新入学児童や関係者に啓発品を配布しています。（令和3年度は3歳～81歳まで8,217点の作品の応募がありました。）

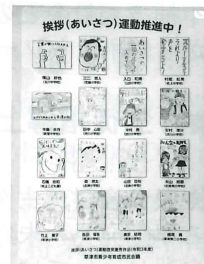


〇青少年にふさわしい環境づくり

愛の声かけパトロールの実施（青少年の見守り）、青少年問題をみんなでトーク（令和4年12月18日開催予定）

〇時代に見合った組織改革の推進

社会情勢の変化に伴い、当市民会議の運営方法や組織体制に令和4年度から見直しのうえ、青少年育成活動に取り組んでいます。役員体制を全体的にスリム化し運営の効率化を図るとともに参加者間や活動への一体感を高めました。



## 青少年育成団体関係者交流研修会

令和4年度滋賀県青少年育成団体関係者交流研修会が、5月20日(金)の午後に滋賀県庁新館7階において開催されました。この研修会は、青少年育成市町民会議および関係機関・団体等の役職員が一堂に会して講演、事例発表や情報交換を通して地域活動の一層の推進を図ろうとするものです。

今年も、「滋賀県民総あいさつ運動」を最重点課題として取り組んでいます。その事例発表と青少年育成に関わる私たちにとって、これからの次代を担う青少年を育成する上で心がけなくてはいけないことについて研修会が開催されました。

### あいさつ運動顕彰者による事例発表

#### 【事例発表①】

「いつでも どこでも 誰とでも」 前田 義弘 氏 (長浜市)

#### 【事例発表②】

「小学生登校 鎌掛みまもり活動」 奥村 恭司 様 (日野町民生委員児童委員鎌掛地区)

### 講演

#### 『青少年のひきこもりの現状と支援のあり方について』

滋賀県立精神保健福祉センター 藤本 千穂 氏

- ・近年、社会問題となっているにもかかわらず意外と知らない「ひきこもりの現状と支援」について、滋賀県ひきこもり支援センター(精神保健福祉センター内)から講師を招き、学ぶ機会をもちました。講演では、センターの取組やひきこもりの定義、サポートのあり方などについて、多くの資料を提示してお話いただきました。特に地域の中でできることについての5つのステップ(ひきこもりの理解、気づき、見守り、つなぐ、支えあう地域づくり)は、青少年の健全育成におけるステップとも共通することが多く、参加者にとって今後に生かせる研修となりました。

## 「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」推進事業 非行防止・環境浄化対策連絡会議

7月6日(水)に、滋賀県庁新館7階大会議室にて、令和4年度非行防止・環境浄化対策連絡会議を開催しました。本会議では、「青少年非行・被害防止滋賀県強調月間」推進事業の一環として実施しています。

#### ●講話「県内の少年非行の現状とSNSに起因する事犯」～SNSと共に生きる少年たち～

滋賀県警察本部生活安全部 少年課長 民徳 隆 氏

非行少年等の統計資料推移から、検挙・補導人員は減少傾向にあるものの大麻事犯は大幅に増加していること、そして、少年の自殺、自傷行為、不登校なども増加といった傾向が見られることをご指摘いただきました。また特に、SNSに起因する事犯について、青少年の約98%がインターネットを利用しており、重要犯罪や福祉犯罪の被害児童の数が高い水準で推移している現状がある中で、「情報モラル」と「環境づくり」の指導の重要性をお話いただきました。

#### ●講演「高島市少年センターの取組」

高島市少年センター 相談・支援員 提中 雅美 氏  
(あすくる高島) 支援コーディネーター 川島 育子 氏  
無職少年対策指導員 近藤明日香 氏

少年センター、あすくる支援、子ども・若者総合相談窓口のそれぞれの役割、子ども・若者支援地域協議会や少年補導委員会との細かな連携、特に「地域で生活できる」「地域で活躍できる」をめざした資源や人とのつながり、ネットワークの広がりを生かした具体的な取組をお話いただきました。

#### ●講演「生徒指導上の諸課題への対応について」

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課 生徒指導・いじめ対策支援室 主幹 北村 武司 氏

国や県の資料データにより、問題行動の捉え方、不登校に対する地道な取組、いじめに対する新たな捉え方による早期発見・未然防止など近年の動向などわかりやすくお話いただきました。特に増加傾向にある子どもの自殺については、その背景や特徴、追いつめられる子どもの心理・状態について様々なデータをもとにご講演いただきました。



# 滋賀県青少年育成市町民会議一覽

滋賀県では19市町それぞれに青少年育成市町民会議が組織されています。ここでは、青少年の健全育成の活動をしています。お問い合わせは下記をお願いします。(令和4年10月31日現在)

| 青少年育成市町民会議名    | 市町民会議<br>会長 | 所在地      |                             | 電話番号                                 | FAX 番号       |
|----------------|-------------|----------|-----------------------------|--------------------------------------|--------------|
|                |             | 〒        | 住所                          | E-mail                               |              |
| 大津市青少年育成市民会議   | 服部 和平       | 520-8575 | 大津市御陵町 3-1                  | 077-528-2706                         | 077-525-7052 |
|                |             |          |                             | otsu1488@city.otsu.lg.jp             |              |
| 彦根市青少年育成市民会議   | 吉田徳一郎       | 522-0041 | 彦根市平田町 670<br>少年センター内       | 0749-24-9140                         | 0749-26-1768 |
|                |             |          |                             | shonen@mx.hikone.ed.jp               |              |
| 長浜市青少年育成市民会議   | 堀川 佳孝       | 526-8501 | 長浜市八幡東町 632                 | 0749-65-6552                         | 0749-65-6571 |
|                |             |          |                             | s-ikusei@city.nagahama.lg.jp         |              |
| 近江八幡市青少年育成市民会議 | 柳生 強        | 523-8501 | 近江八幡市桜宮町 236                | 0748-36-5533                         | 0748-36-5565 |
|                |             |          |                             | 045000@city.omihachiman.lg.jp        |              |
| 草津市青少年育成市民会議   | 我孫子 博       | 525-8588 | 草津市草津三丁目 13-30              | 077-561-6899                         | 077-561-6780 |
|                |             |          |                             | kodomo@city.kusatsu.lg.jp            |              |
| 守山市青少年育成市民会議   | 杉本 信也       | 524-8585 | 守山市吉身二丁目 5-22               | 077-582-1142                         | 077-581-2733 |
|                |             |          |                             | shakaikyoiku@city.moriyama.lg.jp     |              |
| 栗東市青少年育成市民会議   | 朽木 徳寿       | 520-3015 | 栗東市安養寺三丁目 1-1<br>学習支援センター   | 077-551-0145                         | 077-552-5544 |
|                |             |          |                             | syogaigakusyu@city.ritto.lg.jp       |              |
| 甲賀市青少年育成市民会議   | 前田 武弘       | 528-8502 | 甲賀市水口町水口 6053               | 0748-69-2248                         | 0748-69-2293 |
|                |             |          |                             | koka30104500@city.koka.lg.jp         |              |
| 野洲市青少年育成市民会議   | 苗村 明夫       | 520-2395 | 野洲市小篠原 2100-1               | 077-587-6053                         | 077-587-3835 |
|                |             |          |                             | syougai@city.yasu.lg.jp              |              |
| 湖南市青少年育成市民会議   | 井上 明保       | 520-3195 | 湖南市石部中央一丁目 1-1              | 0748-77-6250                         | 0748-77-6253 |
|                |             |          |                             | kyouikusien@city.shiga-konan.lg.jp   |              |
| 高島市青少年育成市民会議   | 杉嶋 郁夫       | 520-1592 | 高島市新旭町北畑 565                | 0740-25-8565                         | 0740-25-8145 |
|                |             |          |                             | syakyo@city.takashima.lg.jp          |              |
| 東近江市青少年育成市民会議  | 北川 久補       | 527-8527 | 東近江市八日市緑町 10-5              | 0748-24-5672                         | 0748-24-1375 |
|                |             |          |                             | syogaika@city.higashiomi.lg.jp       |              |
| 米原市青少年育成市民会議   | 法曇 俊邑       | 521-8501 | 米原市米原 1016                  | 0749-53-5131                         | 0749-53-5128 |
|                |             |          |                             | kosodate@city.maibara.lg.jp          |              |
| 日野町青少年育成町民会議   | 安藤 宜保       | 529-1698 | 蒲生郡日野町河原一丁目 1               | 0748-52-6566                         | 0748-52-4665 |
|                |             |          |                             | kik-syogai@town.shiga-hino.lg.jp     |              |
| 竜王町青少年育成町民会議   | 白井 磯治       | 520-2552 | 蒲生郡竜王町小口 276-1<br>竜王町公民館内   | 0748-58-1005                         | 0748-58-1979 |
|                |             |          |                             | kouminkan@town.ryuoh.shiga.jp        |              |
| 愛荘町青少年育成町民会議   | 西村 育郎       | 529-1234 | 愛知郡愛荘町安孫子 825<br>愛荘町役場秦荘庁舎  | 0749-37-8055                         | 0749-37-4192 |
|                |             |          |                             | syogaku@town.aisho.lg.jp             |              |
| 豊郷町青少年育成町民会議   | 藤 博之        | 529-1161 | 犬上郡豊郷町四十九院 1252<br>豊栄のさと内   | 0749-35-8010                         | 0749-35-8021 |
|                |             |          |                             | syakaikyoiuku@town.toyosato.shiga.jp |              |
| こうらスマイルネット     | 北川 勝        | 522-0244 | 犬上郡甲良町在士 353-1              | 0749-38-3315                         | 0749-38-4336 |
|                |             |          |                             | kyoui@town.koura.lg.jp               |              |
| 多賀町青少年育成町民会議   | 池尻 力        | 522-0352 | 犬上郡多賀町久徳 160-2<br>多賀町中央公民館内 | 0749-48-8130                         | 0749-48-2363 |
|                |             |          |                             | kouminkan@town.taga.lg.jp            |              |

## 正会員(団体)の紹介 (敬称略)

○各市町青少年育成市町民会議 (19市町)

○団体 (46団体)

一般社団法人ガールスカウト滋賀県連盟

滋賀県更生保護女性連盟

滋賀県高等学校等生徒指導協議会

滋賀県高等学校長協会

滋賀県公立高等学校 PTA 連合会

公益財団法人滋賀県国際協会

滋賀県国公立幼稚園・こども園長会

滋賀県子ども会連合会

滋賀県市長会

滋賀県社会教育委員連絡協議会

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会

滋賀県小学校長会

滋賀県少年補導員会連絡協議会

滋賀県書店商業組合

滋賀県私立中学高等学校連合会

滋賀県私立幼稚園・認定こども園協会

滋賀県青少年教化協議会

滋賀県青少年補導センター連絡協議会

滋賀県青少年赤十字指導者協議会

滋賀県青年国際交流機構

滋賀県青年団体連合会

滋賀県スポーツ推進委員協議会

公益財団法人滋賀県スポーツ協会 (滋賀県スポーツ少年団)

滋賀県地域女性団体連合会

滋賀県中学校長会

滋賀県町村会

滋賀県町村教育委員会連絡協議会

滋賀県都市教育委員会連絡協議会

滋賀県都市教育長会

滋賀県 PTA 連絡協議会

滋賀県 BBS 連盟

一般社団法人滋賀県保育協議会

滋賀県保護司会連合会

公益社団法人滋賀県防犯協会

社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会

滋賀県民生委員児童委員協議会連合会

滋賀県モラロジー協議会

滋賀県ユースホステル協会

滋賀県レクリエーション協会

一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会

十社会

生活衛生同業組合滋賀県興行協会

青少年育成アドバイザー滋賀の会

一般財団法人天智聖徳文教財団

公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会

日本ボーイスカウト滋賀連盟

明日の滋賀県民を育てるために

## 滋賀県青少年育成県民会議入会のお願ひ

次代を担う青少年の健全な育成を促すために、広く県民の総意を結集するのが滋賀県青少年育成県民会議の目的の一つです。これまで多くの方々から会員として参加いただき、あすの滋賀県を担う青少年の健全育成のための運動を展開してまいりました。

今後、さらにこの運動の拡充・強化に努め、県民総ぐるみで青少年の健全育成運動を推進していきたいと考えております。

当県民会議の趣旨に賛同していただける団体・青少年育成に関心をお持ちの個人等、多くの方々から賛助会員として、ぜひご入会くださいますようお願いいたします。

### 入会の申込みについて

賛助会員 (年会費) ①個人 3,000円以上  
②団体 (企業) 一口 5,000円 (2口以上)

賛助会員には、県民会議の機関紙「若い季節」等をお配りして、県民会議の活動情報をお知らせしています。

### 会費の活用について

会員の方からいただいた会費は、県民会議の自主財源として、青少年の健全育成に関わる各種事業や啓発資料の作成、配布、機関紙の発行等とともに、各地域の青少年育成連絡協議会の活動助成、青少年や青少年育成指導者等の顕彰に使わせていただいています。

### 入会の申込みについて

入会申し込みは随時受け付けています。賛助会員として入会いただける方は、当県民会議事務局へ電話、FAXまたは電子メールでご連絡ください。

お問い合わせ

### 滋賀県青少年育成県民会議事務局

〒520-0044 大津市京町四丁目3番28号 滋賀県厚生会館 (滋賀県子ども・青少年局分室内)  
TEL 077-523-5484 FAX 077-526-7331  
E-mail ikuseiken@ex.bw.dream.jp